

第9回

金融と経済の明日

高校生小論文コンクール

締切

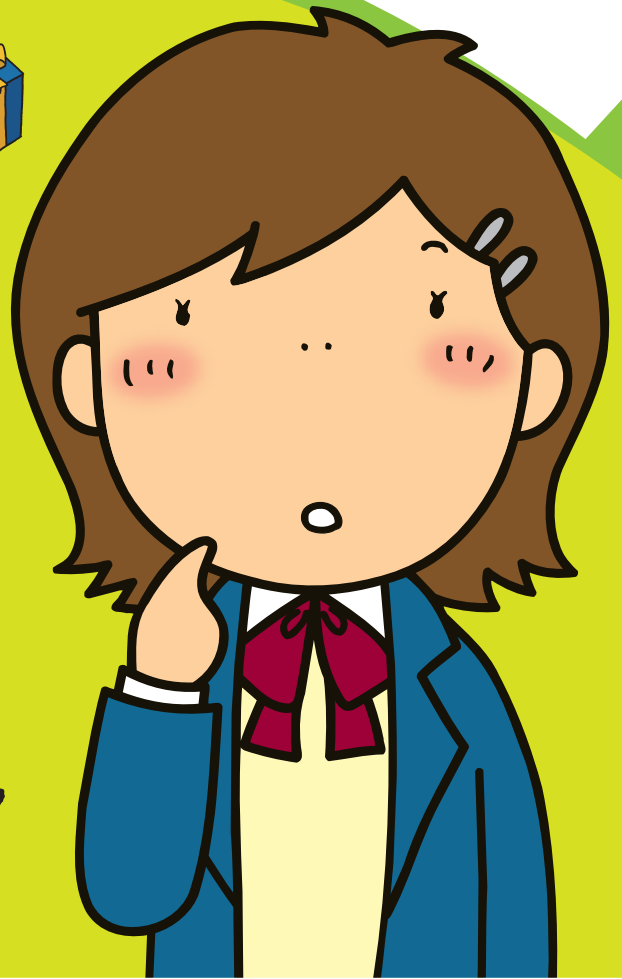
9/20

※消印有効



高校生の皆さん
明るい未来を
考えよう

○月△日 直



金融広報中央委員会は、全国の高校生・高等専門学校生を対象に「金融と経済の明日」に関して小論文を募集します。みなさんのご意見をお聞かせください。

特選 5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 全国公民科・社会科教育研究会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

秀作 5編(賞状と奨学金2万円)

■佳作 50編(賞状と図書カード5千円分) ■学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

第9回

金融と経済の明日 あす 高校生小論文コンクール

未来のために、今考えよう!

高校生にとって、金融や経済に関する問題を考えていくことは、これから社会にどう関わっていくか、どのような社会を創っていくかにつながる大きなテーマです。金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、金融・経済問題の小論文を広く募集します。昨年は、全国から約1,200点の応募が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。本コンクールが、自分の将来や世界と向き合うことのきっかけになれば幸いです。未来のために、今考えてみませんか?



第8回 受賞作品発表 (2010)

金融担当大臣賞

これからの消費者を育てるために

東京都 中央大学高等学校 3年
安永 望美さん

作品内容 「お金を体で感じる事が難しい」電子マネーの普及による身近な消費生活の変化から、お金のあり方の変容と、その危うさに目を向け、将来のより良い消費者を育てるための金融教育の必要性を論じた。「お金の重要性が理解できるようになれば、そのお金を使って手に入れるものの大切さも分かるようになる」という筆者が提案する金融教育のアイデアの具体性や、着眼点のよさ、多重債務問題にも触れる視野の広さが高く評価された。

入賞者の声 自分にとって身近な電子マネーを見つめ直すことがこの小論文を書くきっかけになりました。小学1年生から高校3年生までに学び、経験したことの集大成だと感じているのでこのような賞を頂けてとても嬉しく思います。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

命の値段

群馬県 群馬県立前橋高等学校 2年
大澤 阿紋さん

作品内容 祖母の病気をきっかけに、高額療養費制度など、病気の人やその家族を支援するしくみがあることを知り、医療制度の現状と今後を考えた。国の医療費負担は増加を続けているが、「安易に医療費を抑制してしまえば、現場の医療が疲弊する」と、制度の本質や課題を的確に捉え、医療現場が健全に機能するシステムづくりと、財源の裏づけを早急に行う必要性を訴えた。資料を読み込み、社会全体に関わる問題を考察した点が高く評価された。

入賞者の声 祖母が大病を患い、高額な医療費を目の当たりにして、医療制度とそれを支える社会システムについて感じたことを書きました。このような評価を頂いたことを励みに、今後の医療制度の向上に貢献していきたいと思ひます。

伊藤元重(東京大学大学院経済学研究科教授 兼任 総合研究開発機構理事) 細野真宏(Hosono's Super School代表)
第8回審査員 櫻井純子(聖学院大学非常勤講師) 長嶋俊行(金融庁総務企画局政策課課長補佐) 永井克昇(文部科学省初等中等教育局視学官)
(敬称略) 清水頭賢二(全国公民科・社会科教育研究会副会長) 大川昌利(日本銀行情報サービス局長) 小林信介(金融広報中央委員会会長)

文部科学大臣賞

世界に誇る「時間の正確さ」を産業化へ

東京都 桜蔭高等学校 1年
濱中 みなみさん

作品内容 ニューヨークを訪れた際に再発見した日本社会の「時間の正確さ」に着目し、これを商品化することを提案している。人やものを時間通りに届ける「高い定時性」は、「日本の強み」だとし、例えば物流システム全体と一体化して世界へ提供するなどにより「日本発」の商品やサービスの評価が高まり、日本経済が活性化するとした。伝統と文化が育んできた「当たり前のこと」を商品化するとのユニークな発想が支持された。

入賞者の声 私の小論文を評価して頂き大変光栄に思います。今回は、技術とサービスを融合させた模倣され難い産業を考えました。これからも金融や経済について正しい知識を身に付け、社会貢献できる人になりたいと思ひます。

金融広報中央委員会会長賞

超高齢社会の中で年齢という壁を壊す

東京都 学習院女子高等科 2年
津田 沙也香さん

作品内容 年金制度を軸に、社会保障問題を分析し、「定年以上」のパワーを生かした新しい社会づくりを提案している。高齢社会の現状を理解し、「意欲あるシニアに働く場を提供する機会をしっかりと設けること」を提言。「定年以上」の人々を介護や保育、農業の新戦力と捉える自治体の例を紹介し、「働くことは社会に貢献すること」であり、「仲間とのつながりを実感できる」とシニア側のメリットも指摘する。社会の活性化に向けて元気な高齢者に注目した着眼点が高評価につながった。

入賞者の声 このような賞を頂き大変嬉しく思ひます。ニュースを見て抱いた疑問を自分なりに理解したい、そして高校生である今考えた事を言葉にしたいという思いで書きました。今後も自分で考える機会を大切にしようと思ひます。

日本銀行総裁賞

今、日本の観光産業について考える

福島県 福島県立福島高等学校 1年
鈴木 悠平さん

作品内容 我が国が有する有形・無形の歴史・文化遺産を地域の発展に活用することを考え、「日本遺産」として世界に発信する手立てを論じている。「文化を産業に押し上げる」ツールとして、インターネットの有効性に着目。3Dなどの最新技術を活用したコンテンツが、「直接見たいという強い欲求へと導く」と、具体的な提案をした点が高く評価された。グローバル化の対抗軸として地域の多様性の価値に着目したことも好感を集めた。

入賞者の声 世界中は今、均一化、画一化の最中にあります。このような今だからこそ「個々の特徴を生かす」ことが大切ではないでしょうか。私は、日本が世界に誇れる歴史と文化を産業活性化に利用すべきであると提言します。

秀作

「大切なきっかけ」
福島県 福島県立福島高等学校 1年 阿部 優花さん
「国家目標「最先端国家」を目指せ」
福島県 福島県立福島高等学校 1年 芳賀 泰平さん
「日本の人口変動とその対策」
東京都 学習院女子高等科 2年 荒木 萌さん
「年金と自助努力」
東京都 学習院女子高等科 2年 紺野 彩希さん
「企業の農業誘致から思う」
大分県 大分東明高等学校 2年 上田 歩さん

学校賞

東京都 中央大学高等学校
東京都 桜蔭高等学校
福島県 福島県立福島高等学校
群馬県 群馬県立前橋高等学校
東京都 学習院女子高等科

1. あなたのライフプランと働くことについて考えよう



あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職を付けること、会社で働くこと、起業することなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

2. 日本のこれからを考える



現在の日本経済には、少子高齢化の進展、労働力人口の減少、政府債務残高の増大、若年層を中心とする雇用問題など、様々な問題があるといわれています。また、新興国の経済力の高まりなどを背景に、海外との関わりも変化しています。これからの日本はどのような経済社会を目指すべきでしょうか。具体的な問題とその克服に向けたアイデアを中心に、あなたの考えをまとめてみてください。

3. 日本経済を活性化させる将来有望な産業とは



新エネルギーの利用や、環境に優しいエコ商品、ユニバーサルデザイン、あるいはゲームやアニメなどのコンテンツ産業等、新たな経済活動が活発になってきています。また、地域おこしなど地方を活性化させようとする動きも各地で見られます。あなたが注目するものについて、その特徴をまとめて将来有望であるとする理由を述べてみましょう。

4. 消費者としてのルール



ものを買う、サービスを利用するなど、消費者として行動する際に、あなた自身やあなたの家族で決めているルールはありますか。また、消費者トラブルの一例をとりあげ、そのような思わぬトラブルに巻き込まれないためにどうすればよいのかまとめてみましょう。

5. 自由テーマ



上記以外のテーマで、授業で学んだこと、ニュースで得た情報などをもとに、あなた自身の体験を踏まえながら私たちの暮らしに関連する金融と経済について、考えをまとめてみましょう。

2011年テーマ

テーマを参考にして、小論文の内容に合わせたタイトルを付けてご応募ください。

「金融と経済の明日」第9回高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生および高等専門学校生(3年生まで)

[賞] ●特選 5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 全国公民科・社会科教育研究会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と奨学金2万円)

●佳作 50編(賞状と図書カード5千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

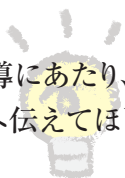
[締め切り] 平成23年9月20日(火) ※消印有効

[発表] 12月上旬、金融広報中央委員会HP (www.shiruporuto.jp) などで発表。

[送付先] 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス3F 金融広報中央委員会コンクール事務局
「金融と経済の明日」第9回高校生小論文コンクール係

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL. 03-6826-8779 (土・日・祝日を除く10時~17時)
同 ホームページ www.shiruporuto.jp

小論文指導にあたり、先生方から、生徒たちへ伝えてほしいこと。



金融教育は、現実の社会の中で生きていくのに必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身につけることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「経済や金融のしくみ」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができます。「生きる力」の育成にもつながります。生徒たちへ、小論文を書くにあたっては、それぞれのテーマに設定されているヒントを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、健全で合理的な家計運営のために、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、中立・公正な立場からの正確でわかりやすい「金融経済情報の提供」と一人ひとりが賢い消費者として自立するための「金融経済学習の支援」を積極的に展開しています。

「金融と経済の明日」第9回高校生小論文コンクール 応募用紙(個人)

選択テーマの番号	作品タイトル		
ふりがな お名前	ふりがな 学校名	立	学年 高等学校 高等専門学校 年
学校住所 (〒 -) 都道府県	市区 郡		
学校電話番号 ()	-		
自宅住所 (〒 -) 都道府県	市区 郡	※マンション・アパート名等も必ずご記入下さい。	
自宅電話番号 ()	-		

※お手数ですが下記のアンケートにご協力お願いします。

●このコンクールはどちらで知りましたか? 番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他()

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用いたしません。

※このまま作品に添付してください。